

# 巻 頭 言

跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科  
学部長 松壽 くみ子

跡見学園女子大学心理学部、大学院人文科学研究科臨床心理学専攻のカリキュラムは、国家資格としての公認心理師、そして民間資格ではありますが長い実績のある臨床心理士の資格試験を受けるために必要な要件を整えています。また、本年令和5(2023)年度から、公認心理師になるための実習・演習に携わる教員・現場指導者の養成講習会が始まりました。心理学部教員も、実習演習担当教員として2日間の共通科目(実習先で指導を担当する実習指導者の方々と共に参加するプログラム)と3日間の教員のみ科目に参加し始めました。社会に貢献できる、支援を必要とする方々の助けになる心理職は、どのような心理職か?どのように養成していくのか?などについての概念的な整理、養成する力の整理と習得などの内容となっています。始まったばかりで、多少の混乱、疑問もありますが、心理職養成について振り返り、新たな視点にふれ、今後の在り方を展望する良い機会となっています。

ここで、改めて「こころの専門家」に必要なものは、何でしょうか?また、跡見学園女子大学心理学部に在籍する学生は、全員が心理職を目指しているわけではありません。たとえ専門職としてではなくても、跡見学園女子大学・大学院に在籍している学生さんに、教員として、何をどのように伝えたいのでしょうか?

心理職の身に着けるべき能力・資質などが、「到達目標」として整理されています。これまでも、伝えてきたものがありましたが、「到達目標」として見える化し、意識的に取り組むことで、より確実に伝えることができます。けれども、「到達目標」として言葉にできないことの中にも大切な能力・資質があり、その重要性も心にとどめておく必要があると思います。忘れずに、心を込めて、丁寧に伝えたいと思います。

最後に、「到達目標」の中に「研究活動に関与する」という項目があります。その中には「研究方法の基本を身に付け」、「自分の研究を発展させる」という内容が含まれています。心理学部紀要は、まさしく、その目標にそったものといえます。本巻にも、多くの力作が集まっております。この心理学部紀要が皆様の日々の研さんにご活用いただけますことを願い、そして多くの皆様からのご投稿をお待ちしております。